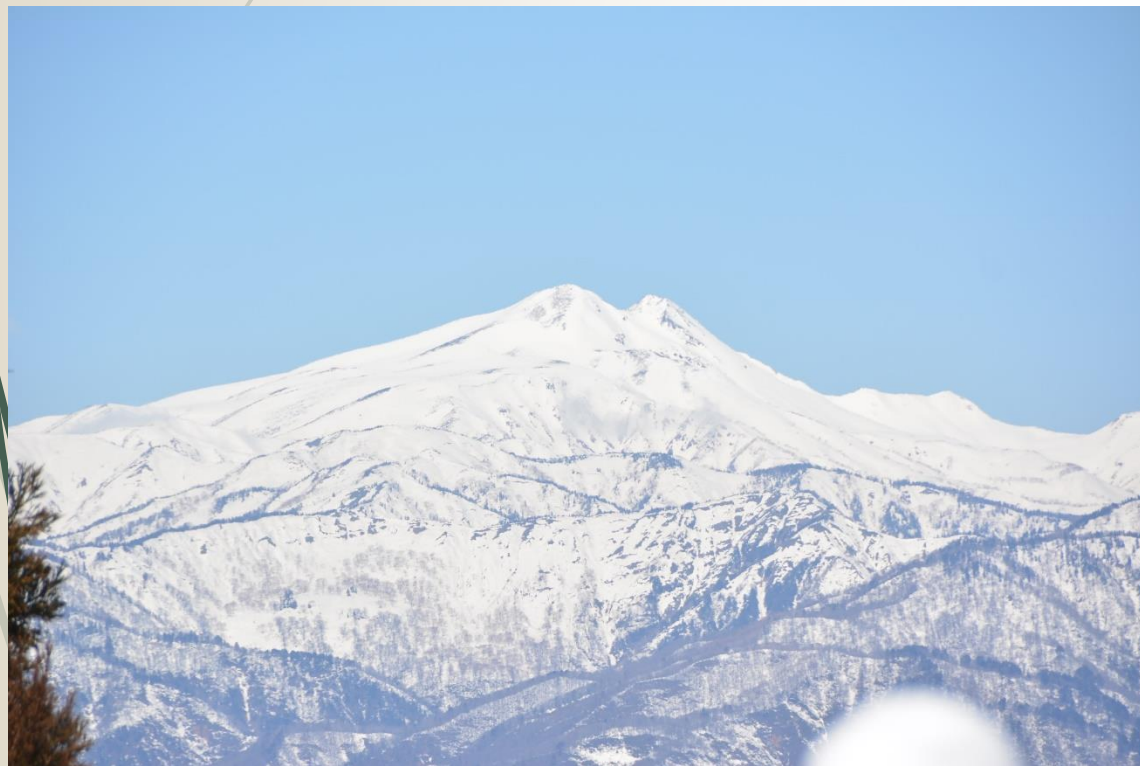


白山芸能とデジタルアーカイブ

郡上市文化財保護審議会委員 曾我孝司

1 霊峰白山

- ・ 岐阜、福井、石川の三県にまたがる標高 2 7 0 2 m の山。
- ・ 御前ヶ峰、大汝ヶ峰、剣ヶ峰の三峰を持つ。
- ・ 古くから神が鎮座する霊山、名山として尊崇と畏怖の対象になってきた。



2 三馬場の成立

- ・ 養老元年（717） 泰澄大師が白山に最初に登拝。
- ・ 天長七年（832） 美濃、越前、加賀の三方から登拝道が整備される。
- ・ 登拝道の登り口に寺社が建てられ、白山信仰の拠点となる。（白山の三馬場）



（美濃）長滝白山神社



（加賀）白山比咩神社



（越前）平泉寺白山神社

3 白山信仰の流布

みくまりのかみ

- ・ 白山の神は農業水を供給する「水分神」として長良川、九頭龍川、手取川流域で信仰される。
- ・ 三川流域に共通の風俗、習慣、生活様式が形成される（白山文化圏）
- ・ 三馬場付近では白山の神に豊穰を祈願する白山芸能が生まれる。



4 三馬場の白山芸能（豊穰祈願）

○美濃馬場

長滝白山神社の「延年」（国指定重要無形民俗文化財）

- ・「菓子台」の前で豊穰祈願の「菓子褒め」がなされてきた。
- ・演目＜乱拍子＞で稚児が「開運厄除」の祈祷札を手にし、舞台を歩行する。



「菓子台」



＜乱拍子＞

○越前馬場

今立郡池田町水海^{みずみ}の「能舞」 (国指定重要無形民俗文化財)

- ・ 豊穰祈願の神事能<式三番>と能が奉納される。
- ・ 廃絶した地域では翁面に豊穰を祈願する「お面様まつり」が行われている。



<式三番>



<田村>



「お面様まつり」

○加賀馬場

白山市白峰の「かんこ踊り」 （県指定重要無形民俗文化財）

- ・ 白山遙拝所の岩根神社で踊られてきた。
- ・ 白山讃歌、豊穰祈願の念が歌い込まれている。



河内の奥は朝寒いところじゃ
加賀の白山 白妙なれど
雪は降るまい文月葉月
雪の間に間に花が待つ
河内の奥に煙りが見える
御前の山が焼けるのか
のが手を引けなんぼをおぶせ
河内・・・白峰の最奥の地
のの・・・老人

御前の風を吹きおろす（返し）
雪は降るまい六月は
歌うて舞うてお山へ登りゃ

いねや出て見や霞か霧か
御前の焼けの煙とあらば
そしておんじの裏山へ

御前・・・ 御前ヶ峯
なんぼ・・・子供



5 白山芸能の保存

白山芸能の現状

- ・形態や演目に変遷が見られる。

保存における課題

- ・正確な芸能の記録と保存。
- ・白山芸能や祭事の発掘と広報。

